

科目名		授業形態	担当教員名	
脳性麻痺 I (基礎)		講義	山名 由香里	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
・脳性麻痺、肢体不自由の障害像を定型発達と関連づけて理解できるようになること、生活、言語やコミュニケーションにおける障害を理解し治療介入をイメージできるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
・定型発達における言語コミュニケーション、摂食嚥下と発声発語の発達と運動、感覚の発達との関連を理解できる。 ・脳性麻痺の定義とタイプを理解しイメージできる。・脳性麻痺・肢体不自由児 (者) の生活、言語やコミュニケーションの発達における障害を理解できる。・各種の治療介入、言語聴覚療法における実際を理解できる。				
授業計画				
回	内容			
1	定型発達 (摂食嚥下・発声発語)			
2	定型発達 (言語・コミュニケーション)			
3	脳性麻痺・肢体不自由児 (者) の理解			
4	脳性麻痺各型の特徴 (ワーク)			
5	脳性麻痺各型の特徴と生活障害			
6	脳性麻痺・肢体不自由児 (者) の食事、言語、コミュニケーション発達における障害			
7	脳性麻痺・肢体不自由児 (者) への治療介入 (概論)			
8	脳性麻痺・肢体不自由児 (者) への治療介入 (神経発達学的治療を中心に)			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
入門コース ことばの発達と障害1	ことばの発達入門 秦野悦子 編		大修館書店	
入門コース ことばの発達と障害2	ことばの障害入門 西村辨作 編		大修館書店	
入門コース ことばの発達と障害3	ことばの障害の評価と治療 大石敬子 編		大修館書店	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載	配布資料内に掲載			
備考				